

ほっとにゆ〜す

15日版

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。

あなたが知っているおもしろい行事などがあれば、企画広報課広報広聴グループ（☎65-6504）まで事前にお知らせください。

8/19(金)
~21(日)



富永小学校・蓬萊初等学校 姉妹校交流

江戸時代、朝鮮との国交に尽力した雨森芳洲の出身地であるご縁から、平成3年から交流を続けてきた両校。今回は富永小学校児童が韓国を訪れました。

韓国の民族舞踊やよさこいソーランなど、両国独自の出し物でお互いに楽しい時間を過ごし、寝食を共にした児童は「初めは、言葉も通じないし心配だったけど、一緒に過ごしてだんだん気持ちが通じてきてうれしかった。」と感想を述べていました。

8/21(日)



下余呉太鼓踊り

県の無形民俗文化財に指定されている下余呉の平弥神社の太鼓踊り。地元の子どもたちが主役を務めるこの舞は近年、子どもたちの人数が揃わず開催できませんでした。

6年ぶりとなった今年、雨のため舞台を余呉体育館に移しての開催となりましたが、たくさんの人たちが見学に訪れ、子どもたちの優雅な踊りに見入っていました。

8/21(日)



第6回琵琶湖オープンウォータースイムレース

自然の中を泳いでタイムを競う「オープンウォータースイムレース」が南浜水泳場で開かれました。種目は400m、1km、3km、4×500mリレーの4種目。4人の招待選手と、県内外から集まったおよそ350人の選手たちが雨の中、それぞれの種目で熱戦が繰り広げました。北京オリンピックから公式種目になったこのスポーツ、今後ますます競技人口が増え、人気が高まりそうです。

8/22(月)
~25(木)



木之本地蔵盆

日本三大地蔵として知られる木之本地蔵院で縁日が行われ、地蔵院境内と周辺は連日たくさんの人で賑わいました。

地蔵坂と北国街道には4日間で10万人が訪れ、140の露店巡りのほか、きのもと交遊館のフリーマーケットや明楽寺境内のロックコンサートなど、この夏最後のお祭りを楽しみました。

最終日の25日には1,800発の花火が打ち上げられ、湖北の夜空りました。

8/22(月)
~23(火)



YANAGIMANミュージックスクール

音楽による地域振興を目指したサマースクール「LINK MUSIC CLUB ~YANAGIMANと歌って踊ってもっと音楽を好きになろう in 滋賀」が旧余呉小学校で行われました。ケツメイシや倅田来未など名だたるアーティストへの楽曲提供やプロデュースをしているYANAGIMANの指導を受けようと県内外から集まった24人の参加者たちは、最後には歌のレコーディングを行いました。